

消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	肝細胞癌に対する肝切除後の長期予後予測因子の検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	消化器外科
研究責任者	(職名)講師 (氏名)深見保之
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	肝細胞癌に対する肝切除症例において、免疫栄養状態の指標の一つである Controlling Nutritional Status (CONUT) スコアと、腫瘍因子からみた長期予後予測因子である Tumor Burden (TB) スコアを合算した CONUT-TB スコアの長期予後予測因子としての有用性を検討することを目的としています。
対象となる患者さん	2015年1月から2018年12月までに当院で肝細胞癌に対して肝切除を行った患者さん
研究の方法	2015年1月から2018年12月までに肝細胞癌に対して肝切除を行った96例を解析。CONUTは術前アルブミン、総コレステロール、リンパ球数をもとに算出し、TBは腫瘍径と腫瘍個数から算出します。CONUT-TBは両者の和と定義し、ROC曲線を使ってカットオフ値を求めます。 詳しい研究計画及び研究の方法に関する資料を入手や閲覧することができます。ご希望の場合は、下記問い合わせ先にご連絡下さい。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2020年12月31日
研究に用いる試料・情報	情報：【術前アルブミン、総コレステロール、リンパ球数、手術で摘出した標本における病変の腫瘍径と腫瘍個数】
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	
問い合わせ先	愛知医科大学

医学部外科学講座

担当者:(職名)講師 (氏名)深見保之

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311 (内線 22121)